

# ともだちのわ

T O M O D A C H I N O W A



城徳学園いそべ幼稚園



大巖寺幼稚園



由田学園千葉幼稚園



千城東幼稚園

## Contents

- P02 巻頭言 安田 重実 (のぞみ幼稚園園長)
- P03 公益社団法人10周年を迎えて  
千葉市幼稚園協会会長 岸 憲秀
- P04 令和4年度 園表彰・永年勤続者表彰式
- P06 千葉市幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて
- P09 幼稚園・こども園フェア2023
- P10 お弁当・給食だいすき
- P11 保育室の窓から
- P12 千葉市幼稚園協会からお知らせ、編集後記

# 子育てにやさしい国づくりを!



学校法人信愛学園 のぞみ幼稚園  
理事長・園長 安田 重実

この春幼稚園を卒業していく卒業生のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業おめでとうございます。大きなランドセルを背負って小学校に向かう姿が目につかびます。みんな元気でがんばれー、先生たちはおうえんしています。

今年の卒業生が幼稚園に入園した頃は、コロナが一斉にはやり始めた年で、2月の末から6月まで幼稚園も小・中学校も一斉に臨時休業になってしまいました。せっかく幼稚園の入園を楽しみにしていたのに、その後もずっとコロナが収まることなく、感染を避けるために3密(密閉・密集・密接)を避け、日々いろいろな活動が制限されて思いっきり遊ぶこともできず不自由な思いで園生活をすごしてきました。園でコロナが発生すると本人はもとより濃厚接触者は誰かと調べ何日間も休まなければなりません。こうしたことは今も続いており、現場の保育者は気を抜くことはできません。

しかしこの様な時に、私たちは保育についていろいろと考えさせられました。

保育は「密」でないとできないと言われてきましたが、この機会にそのことを改めて考えることが必要になってきました。

まず何と言っても日本の保育の状況は、世界の中でも条件が悪くなくて、一人の先生がたくさんの子どもを見るといふことがあります。また都市部では庭もない、窓もないような保育施設も多くあり、子ども

を安心して預けられる環境ではありません。そのような所で幼い子どもを長時間(11時間)預かるようなことは子どもにとって過酷です。こうしたことが保育者の不安を拡大しています。待機児童対策として国は多くの保育施設を造ったのですが、これでは先生も子どもも親もみんな疲れてしまいます。

私は子どもは3歳位までは家庭で育てるのが一番自然だと思います。そのような家庭で子育てする人にも手厚く財政的支援をし、子どもを産み育てることが楽しく幸せなものになるように支援することが大事だと思います。これからは社会全体でそうした仕組みを考えてほしいものです。

以前私がヨーロッパの保育施設を訪れた時「日本の幼稚園は1クラス何人位ですか?」と聞かれ「30人位です」と答えると、その人数の多さにびっくりしていました。日本では今も園児数獲得のため遠方まで園バスを走らせていますが、そうしたことが教育のあり方にひずみをもたらし、園児を置き去りにする事件や、不適切な保育につながり、園の信頼を失うような深刻な問題を引き起こしています。幼児教育の大切さを心にとめ、子どもたち一人ひとりの人格を尊重する保育を心がけていかなければなりません。

さらに日本の最も大きな問題は、急激な少子化です。年間の出生数はすでに100万人を割り、今年は80万人を切ってしまう深刻な状況です。少子化対策に一刻も早く手を打たねばなりません。この4月から「こども家庭庁」が発足しますが、こども関係予算も倍増して子育てに優しい国造りを推進するよう期待しています。

課題は多くありますが、これからも千葉市の幼稚園が「小さな手に大きな未来を!」の合い言葉のもとに結束して幼児教育の向上に努め、市民のみなさまから信頼される幼児教育を続けていただきたいと願っています。

# 公益社団法人10周年を迎えて

公益社団法人 千葉市幼稚園協会 会長 岸 憲秀

このたび私ども千葉市幼稚園協会は公益法人化して10年を迎えました。従来も社団法人としての公益性を保ちつつ、その働きをしてきましたが、法整備により社団法人や財団法人が、一般法と公益法人とに区別されることを受けてのことでした。公益法人化したとき、私は副会長であり、当時の杉森信幸会長とその後就任した畠山一雄会長のもとで、公益法人化への道筋を共に担ってきました。

そもそも千葉市幼稚園協会は、建学の精神に基づいて保育に携わってきた私立幼稚園の集まりであり、国立の幼稚園を除くすべての幼稚園が私立であることを踏まえて、千葉市の幼児教育を担っているという自負がありました。そういう意味では千葉市の幼児教育へのリーダーシップが期待されるという立場でもあります。そこで、私どもは一般社団法人ではなく、より公益性をもった働きを行う決意のもとで、公益法人化を目指したのです。実際の作業は多くの負担がかかるもので、実務に当たった理事方の労は大変なものだったと思います。とりわけ、当時の石原隆広副会長と能勢正明理事の働きは大きなものでお二人の働きなくして公益法人化は成し得なかったものと思い、改めてそのご尽力に感謝し、敬意を表すものです。

さて、公益社団法人としての私たちの役割は、千葉市の子どもたちが健康で幸福な日々を過ごすことを願いつつ、その働きを担っていくことです。それは各園が滞りなく保育を行っていくことのみならず、互いに切磋琢磨しながら、よりよい保育を目指していくことに他なりません。そのために今日にふさわしい保育の在り方を追究し、また、先生方

が研鑽を積むことができるような機会を設けていくことが肝要だと思われます。千葉市幼稚園協会は、従来研修に重きを置いてきました。それは誇るべき私たちの働きです。夏休みの研修やその他の時期の研修に加え、11月には全園参加の公開保育を行い、研修のために休園までして研鑽に励んできました。そういう貴重な時を共にし、互いにより良い保育を目指してきました。また、最近では未加盟園や保育所との「相互乗り入れ」による研修の機会を設けて「千葉市の子どもたち」の育ちを広く共有していく努力を積んでいます。

また、子どもたちが幼稚園で生活することの意義を市民に啓蒙するために「幼稚園・こども園フェア」を開催し、未就園のお子さんへのまなざしを共有し、さらには保育者を目指す若い魂とも思いを合わせようとしています。

これから少子化に拍車がかかるような時代へと進んでいくかもしれません。しかしそのなかでも私たちは千葉市行政との協力や、千葉市民間保育園協議会など、共に子どもたちに関わる諸団体と協力しながら、千葉市の子どもたちへの変わらぬまなざしを絶やすことなく、励んでまいりたいと思います。10年の節目に当たり、襟を正して前を向いてまいりましょう。



# 令和4年度 園表彰・永年勤続者表彰式

## 園表彰・永年勤続者表彰式を終えて

11月30日(水)、園表彰・永年勤続者表彰式を市民会館で行いました。今年度も、千葉市長神谷俊一様、千葉市こども未来局長大野和広様にご臨席を賜り、多くの皆様のご協力により、滞りなく式を終えることができました。

岸憲秀会長の主催者挨拶では、幼児教育を取り巻く環境は変化しても子どもへの目線は変わらないこと、子どもの生命・人生を預かる保育の場は、人間性の上にシステムが成り立っていること、人と人との出会いの中から育まれる体験的な積み重ねができる場が幼稚園であること等、私たち保育に携わる者の原点を考えさせられるようなお話をいただきました。

千葉市長からは各園の幼児教育・子育て支援に対して、また新型コロナウイルス感染拡大防止について感謝と敬意のお言葉をいただきました。そして、今年度3年ぶりに行った幼稚園・こども園フェアにおいて市内の保護者の幼児教育への期待の高さを感じられたこと、幼稚園と小学校との連携をもっと強化していく必要があること等のお話をいただき、千葉市から幼稚園運営の安定のための支援を今後も行っていくとのお言葉も頂戴いたしました。

永年勤続受賞者の代表として梅乃園幼稚園の

武井敦志先生が謝辞を述べました。幼稚園教諭としての経験を積んでいく上での思い、自分の行動についての責任、後進への指導等、今まで以上に精進していきたいという強い意志が感じられる言葉でした。

体験発表は、羔幼稚園の堀幸子先生が、新任の時から結婚・出産を経て幼稚園で勤務された体験を発表しました。新人の時に周りの先生に支えられたこと、子育ての経験を経て気持ちに余裕を持てるようになったこと、フリーの先生を経験したことで得られた二つの大きなこととお話しされました。二つのこととは、子どもの言葉を大切に、子どもの興味・関心がどの方向にいつでも対応できるような柔軟さと、臨機応変に対応できるような準備が大切であること、保育の共有を大切に、担任以外にも先生全員が子どもの健康・成長・家庭環境等を把握し、子どもへのより良い援助ができるようにすることでした。さまざまな経験をとおしての素晴らしい発表をしていただきました。

創立45周年を迎えた5園と創立30周年を迎えた1園、役員表彰、永年勤続者表彰を受賞された先生方、本当におめでとうございます。

能勢直樹（認定こども園 高浜幼稚園）



式典の様子



永年勤続者代表謝辞



保育者の体験発表

45年

小中台幼稚園

園長 小林 明子

この度は創立45年の園表彰をいただき、ありがとうございます。多数の卒園生が保護者や保育者になって戻ってきてくれており、月日の流れを感じております。

「全園児を全職員で育てる」との思いを常に意識しながら教職員の輪を大切に今日まで進んで参りました。たくさんのこどもたち、保護者様、歴代の教職員の温かい真心のおかげで節目の年を迎えられました。日頃から千葉市、千葉市幼稚園協会の皆様には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。今後も努力を怠らずに精進して参ります。

30年

花水木幼稚園

園長 石井 幸子

この度は創立30周年園表彰を賜りありがとうございます。あっという間の30年と感じます。たくさんの卒園児さんとその保護者の皆様、地域の方々、歴代の教職員に支えられて今があります。また、地元緑区内の加盟園園長先生方をはじめ、たくさんの園長先生方にご指導をいただきながら続けられた30年です。この先の時代がどのように変化しても、幼児期に必要な保育をとおして、笑顔、笑い声、喜びがたくさんある幼稚園をめざし日々まい進していきます。この表彰を賜るにあたり、千葉市、千葉市幼稚園協会の皆様をはじめ、たくさんの方々には深く感謝申し上げます。これからも地域の幼児教育の発展に教職員一同、一丸となつて精進して参ります。

40年

若松台幼稚園

岩下 早苗

「夢のような40年間」

この度は永年勤続表彰を頂き、心より感謝致します。

「40年表彰」ずっと先のことだと思っていました。ところが、あっという間にこの時を迎えてしまいました。40年間、若松台幼稚園にお世話になり、思い返すといろいろなことがありました。今、思うと夢のような日々でした。40年間現場で頑張れたことは自分にとって誇りでもあり、自分を支えてくれたすべての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

20年

梅乃園幼稚園

武井 敦志

この度は、永年勤続表彰式を開催してくださり、ありがとうございました。

振り返ると、さまざまなことがあった20年でした。園長先生、副園長先生をはじめ、一緒に仕事をしている先生方へ感謝の気持ちでいっぱいです。

未だ脅威が衰えないコロナウイルスが蔓延しています。園での活動や行事に変化や制限が掛かる可能性もある中で、保護者の方々の気持ちに寄り添い、子どもたちの成長を第一に考え、健康に気を使いながら、保育に努めたいと思います。

10年

千葉女子専門学校附属聖こども園

平沢 仁美

この度は永年勤続表彰式を開催していただき、ありがとうございます。これまでの人生を振り返った時、物心ついてから一番思い出深いのは幼稚園時代。そして保育の道を志すきっかけとなったのは、年長の担任の先生との出会いでした。いつもいっしょだったのは、年長の担任の先生との出会いでした。いつもいっしょだったのは、年長の担任の先生との出会いでした。いつもいっしょだったのは、年長の担任の先生との出会いでした。

10年

青い鳥第二幼稚園

川上 春実

この度は永年勤続10年を表彰していただきありがとうございます。私は新卒で数年担任を受け持ち、結婚して家庭に入り子育てをし、子どもが中学高校に入学するときに千葉市の幼稚園に再び勤務しました。子育てを経験したことで幼稚園教諭としてのあり方が変化しました。子どもたちに寄り添い保育していくことはもちろんですが、保護者あつての保育ということを考えるようになりました。保護者の不安や心配なことを聞き、手助けができ子どもも安心して過ごせるように支援していける幼稚園教諭でありたいと思うようになりました。この先また自分が目指す幼稚園教諭像がどのように変化していくのか楽しみです。

令和4年度 創立45周年、30周年園表彰

創立45周年園表彰	認定こども園 植草学園大学附属美浜幼稚園 認定こども園 みつわ台幼稚園 千葉聖心幼稚園 小中台幼稚園
創立30周年園表彰	認定こども園 鏡戸幼稚園 花水木幼稚園

令和4年度 永年勤続者表彰

40年	小林 さとみ 岩下 早苗	新検見川幼稚園 若松台幼稚園	10年	中島 和望 高戸 幸子	聖母マリア幼稚園 聖母マリア幼稚園
30年	岩坂 真弓	花園幼稚園	岸 恵美	(認)千葉明德短期大学附属幼稚園	
20年	岸 恵 武井 敦志	羔幼稚園 梅乃園幼稚園	赤尾 幸子	新検見川幼稚園	
	安田 光太	(認)へいわ幼稚園	加藤 萌	(認)土岐幼稚園	
	菅藤 拓也	(認)千葉敬愛短期大学附属幼稚園	川上 春実	青い鳥第二幼稚園	
	城 恵	若松台幼稚園	槻館 裕子	(認)へいわ幼稚園	
	小向 絵美	(認)植草学園大学附属美浜幼稚園	平沢 仁美	千葉女子専門学校附属聖こども園	
	黒子 陽恵	小中台幼稚園	岩本 久実	こぞくら第二幼稚園	
10年	堀 幸子	羔幼稚園	金親 沙紀	こぞくら第二幼稚園	
	山口 絵梨子	翠幼稚園	古川 愛香	ひばり幼稚園	
	西部 千里	翠幼稚園	海沼 咲	真砂第一幼稚園	
	田中 友樹	梅乃園幼稚園	前橋 めぐみ	(認)へいわ幼稚園	
	副島 咲子	みのり幼稚園	森井 里恵	(認)高浜幼稚園	
			川上 桃子	山百合幼稚園	
			Bryan Crowe	幕張インターナショナルスクール幼稚園	

令和4年度 役員表彰

21年	手島 英男	税理士法人千葉中央会計事務所 会長
16年	植草 和典	植草学園 理事長
6年	長谷川 豊	松ヶ丘学園 理事長
6年	広田 実	こてはし台幼稚園 前理事長・園長
6年	片岡 伸介	認定こども園 鏡戸幼稚園 理事長
6年	西郡 敏夫	認定こども園 ほまれ幼稚園 前理事長

# 千葉県幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて

## <第54回千葉県幼稚園教育研究会を開催しました>

令和4年11月9日、千葉県幼稚園教育研究会(以下、公開保育)は3年ぶりの開催となりました。今年度は公開園を増やすことで参観者数を抑え、また短時間での開催とすることで感染防止に配慮した上で実施いたしました。公開担当園にとっても、それを参観する者にとっても貴重な公開保育でした。自身の保育を振り返り、そこで得た気づきや学びは、明日の保育の向上に繋がります。公開保育の再開を機に、加盟園全体で更に質の高い幼児教育の実現に向けて歩みを進めたいと思います。

(研究委員長 鈴木 由歌)

### 中央区 認定こども園 はまの幼稚園 櫻田 千愛

晴天のなか当日を迎え、子どもたちは学年毎にはまのランド(コーナー遊び)から元気良く1日がスタートしました。その後は各クラスで運動遊びや劇遊び、SDGsを取り入れた製作活動等を行いました。少し緊張気味な様子も伺えましたが、次第にいつもの明るい笑顔が見られました。

公開保育後は、学年ごとにグループ協議を行いました。各園の取り組みを知ることができ、充実した時間となりました。

公開保育の経験がない職員が多く、保育を見直す良い機会をいただき、感謝申し上げます。



年長組SDGs製作活動「けん玉製作」

### 中央区 大巖寺幼稚園 長谷川 奈可

11月9日は爽やかな秋晴れのなかでの公開保育となりました。当園の一日は朝、園庭で体を動かすことから始まります。体をほぐし、リズムに合わせて走ったり体操したりして徐々に頭と体を目覚めさせていきます。その後、心を整え仏さまにご挨拶、全員そろって歌を捧げます。教室に戻り乾布摩擦をするところまでが朝のルーティンとなっており、参観いただきました。また、翌週に発表会を控えていたことから、ホールでの歌の練習もご覧いただきました。ご参加いただいた先生方からは貴重なご意見をいただきました。日頃の保育を振り返るよい機会となりましたこと、心より感謝申し上げます。



保育内容とそのねらいを説明する担任

### 中央区 認定こども園 仁戸名幼稚園 山下 亜沙美

当日16名の先生にご参加いただきました。ありがとうございます。

「子どもが主役」をテーマにし、芋掘りから子どもたちが感じたこと、疑問に思った声を取り入れて制作や絵画活動等の計画を立てました。

今年も豊作で、年長児は二度目の芋掘りの様子をご覧いただきました。収穫を楽しむだけでなく前回との品種の違いを知ったことでさつま芋への興味も膨らんだようです。

分科会では「生きる力」について貴重な意見を伺う時間もできました。ありがとうございました。



土の感触を感じ、友だちと楽しみながらさつま芋を収穫している所

### 中央区 認定こども園 都幼稚園 濱田 由紀子・青木 京美

今年度は3年ぶりの教育研究会が行われ、近隣小学校の校長先生はじめ28名の先生方に都幼稚園の保育の現場を参観していただきました。

参観者との協議会では、保育教諭一人ひとりが学びと気づきにより大きく成長する実りある経験をしました。子どもたちも大勢の参観者に物怖じすることなく、生き生きとした日常の姿を見ていただくことができました。

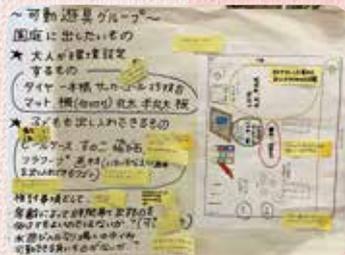
今後も子どもの「やってみたい」の兆しを見逃さず「できる」自信から「大好き」自己肯定感へと導けるような支援をしていきたいと思ひます。



ホールでの全体会

## 中央区 植草学園大学附属弁天こども園 久留島 太郎

本年度は園内研修のテーマを「子どもの主体的な遊びを引き出すための環境と保育者の関わり」とし、公開保育では試行錯誤しながら保育環境を創っている日々の保育を見ていただくことを目的としました。公開保育後には参加された先生方と一緒に、子どもの主体性を引き出すためにどんな保育をしているかについて、それぞれが自分の日ごろの保育を語りながら、子どもたちの遊びを通した学びにつながるための話し合いをすることができました。



研修で取り組み中の環境図

## 中央区 院内幼稚園 古山 路得

良い天気にも恵まれ、園庭で子どもたちは、自分のやりたい遊びを思いっきり楽しんでいました。

先生方を迎え、子どもたちはうれしくお話をしていたり、声をかけてくださっている先生方と一緒に遊んだりと楽しい一日となりました。

分科会では先生方より一日の保育について温かい感想をいただきました。参観してくださった先生方ありがとうございました。

日頃の保育を継続し、子どもたちが日々生き生きとした笑顔で、意欲的に活動できるように共にすすめていきたいと思います。



園庭でドッジボール

## 美浜区 認定こども園 高浜幼稚園 飯田 正宏

青空の下、園庭で全園児が元気いっぱい、笑顔いっぱいの姿をお見せすることができ、とても嬉しく思いました。公開保育では前半に全園児の戸外遊び、8カ所のコーナーを選びながら楽しく遊び、後半は各クラスで主活動を行いました。ご参観いただいた先生方からは「全園児が一斉に外遊びを楽しめる素敵な時間でした」「落ち着いて話を聞く姿に感心した」など、温かく貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。



戸外遊びの最後に全園児で体操しました

## 美浜区 めぐみ幼稚園 杉森 信幸

本園は「ECEQを活用した公開保育」を行いました。コロナ禍にもかかわらず、開催の主旨を理解されて、ご来賓の方を含めて16名の方々が参加されました。園が設定した「問い」に丁寧にお答えいただき、また午後の話し合いでは参加された先生方の園の様子も細かに示されて、実りのある時間となりました。私たちが目指した「保育について話し合う」ことが、参加者の皆さんと共有できていたら大変嬉しく思います。



全体会で各学年の保育を共有しました

## 花見川区 由田学園千葉幼稚園 能登 里沙

「生きる力を引き出す保育の実践」をテーマに公開保育を行い、園児が室内で自分の好きな遊びを見つけて取り組む活動・クラス皆で気持ちを合わせる心地よさを味わうわらべうた遊び・園庭で友だちと一緒に身体を動かすことを楽しむ活動・自然との触れ合いの中で五感を使いながら遊ぶ活動などを参観していただきました。皆様の眼差しが温かく、子どもたちは緊張することなく、秋の柔らかな日差しの中なかで伸び伸びと活動することができました。

研究協議会では、園の垣根を越えて活発に意見を交換し合うことができ、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。



わらべうた

## 花見川区 スガハラ幼稚園 畑野 秀信

13名の先生方に参加していただきました。

普段の保育の流れを変えることなく、子どもたち主体の保育を展開しました。年長・年少組は12月の発表会に向けての劇遊びの様子を、年中組は遠足に向けて期待を膨らませる内容を参観していただきました。

分科会では、感想や気付いたことをご指摘いただいたり、普段の保育の悩みなどを話し合ったりして、短時間でしたが有意義な時間となりました。



年長組 劇遊び

## 稲毛区 園生幼稚園 池田 明美

予定より2年遅れの公開保育は「楽しい時間の共有」を研究主題に、クッキングや英語教室、サーキットやICT活動などの当園らしい保育をご覧いただきました。お客様が大好きな子どもたちは、そのなかでも普段通りに元気いっぱい活動に取り組み「今日一日を皆で楽しむ」生き生きとした様子を楽しんでいただけたと思います。公開保育を経験することで職員一人ひとりの成長も感じることができました。また、ご参加いただきました先生方からはたくさんの励みになるお言葉を頂戴しましたので、これからも子どもたちの生きる力に重きをおきながら、日々保育に邁進してまいります。



パン作りがんばるぞ～(年中組)

## 稲毛区 あやめ台幼稚園 阪本 礼

『生きる力を引き出す保育の実践』を主題として、子どもたちに経験してほしい内容を考えて、普段の保育の実践を参観していただきました。各クラスには、保育の様子を撮影した写真類を掲示して、全体会ではこれまでの行事等のスライドを映写しました。参観された先生方から、さまざまな意見、感想、質問をいただき、保育を見つめなおす貴重な学びの場となりました。

今後も、この研究会を機に、日々の保育を見直し、さらに内容を深めていきたいと考えています。



年長組 街づくり

## 若葉区 やまびこ幼稚園 水野 美由起

公開当日は、小春日和の穏やかな天気にも恵まれました。保育活動は林間遊園地を利用し3学年合同の展開としました。主な活動は「林間遊園地での音遊び」を中心とし「異学年の関わりを楽しみながらそれぞれの学年らしさを発揮し、交流を深める」としました。年長はペットボトルを利用した楽器で、年中は缶のふた、瓶のふた等を利用した楽器で、年少は竹の筒に種や石を入れた楽器を使って、全学年で「さんぽ、となりのトトロ、ツバメ」の曲を流し、音遊びを楽しみました。また年長は、自分たちで考えた紙芝居を堂々と発表しました。年中は、身近な自然物を利用し、自分で作った衣装を着てファッションショーをして楽しみました。

今回の公開保育で貴重なご意見やご感想をいただきました。今後の保育活動に活かし子どもたちと真摯に向き合い、日々の保育活動を深めてまいります。



年長・年中・年少 合同の音遊び  
自分で作った各楽器を使って

## 若葉区 若松台幼稚園 嶋田 奈美

今回初めて公開保育を経験し、私自身とても緊張していました。そのなかで課題の一つである“援助を必要とする子どもへの声かけ”をテーマにしました。

園バスから戻り、保育室に入るとたくさんの先生方がいらっやっていて、その雰囲気にも圧倒されながらも課題に対して、取り組みました。この公開保育で私は見られる側として、新任ということもあり、普段どおりの保育を行うことがすごく難しいことなのだと思ふことができました。そして、いつでも自信を持って保育を実現したいという新たな目標を見つけることができました。今後、他園を見る機会があれば、子どもへの声かけや興味を惹きつける工夫について学びたいと思っています。



みんなで楽しく元気に体操

**若葉区** 認定こども園 みつわ台幼稚園 早川 晋

小春日和に恵まれ公開保育当日を迎え、日々の保育の充実に向けて力を入れていること、園のありのままを参観していただけるように準備してきました。

各学級において、地域素材をいかした季節が感じられる制作活動や、これからの発表会に向けた劇や和太鼓の練習の様子を展開しました。普段とは違った雰囲気の中なかでも、担任を中心に補助の職員のサポートもあり、日常に近い保育活動が進められたと思います。

ご来賓や参観者の方から貴重な多くの助言をいただき、職員一同今後も保育の充実に向けて大きな励みとなりましたこと、心より感謝申し上げます。



園庭で拾って集めた葉での冠づくり

**緑区** 聖母マリア幼稚園 木本 華子

今回公開園という機会をいただき、今までの保育を振り返り、子どもたちのなかに育てたいことや大切にしたいことなどを教師間でも再確認することができました。心を新たに歩み出した今年度、子どもたちの本当にやりたいことを大切にしてきました。当日も普段の自主活動(子どもたちが遊びや場所を選び、やりたい遊びを行う、自主的に活動できる時間)を先生方に見ていただき、心温まるご意見に励まされました。今後も目の前の子どもたちをよく観察し、必要な手を差し伸べられる私たちでありたいと思っています。



子どもたちとの交流もあちこちで！

**緑区** 花水木幼稚園 石井 郁美

「共通の目標に向かって、友だちと考えやイメージを出しながら協力して取り組む楽しさを味わう」を研究テーマに掲げ、取り組んできました。

各クラス趣向を凝らし、子どもたちの成長に合わせて、目標をもって積み重ねてきたことで当日新しい発見やイメージができ、子どもたち同士で意見を出し合う姿も見られました。

さまざまな活動において先生はヒントや提案をすることでその続きは子どもたちが考え楽しみながら活動に取り組んでいます。

今回の公開保育を通して子ども主体の活動が展開できました。

参加された先生方からも貴重なご意見を伺えましたので、今後の保育に活かし、子どもとともに日々楽しく成長できる幼稚園でありたいと思いました。



保育を振り返って

2023

# ようちえん こどもえんフェア

**令和5年7月29日(土) & 30日(日) 2日間開催決定!!**

幼稚園・こども園フェア2023は初めての2日間にわたる開催が決定いたしました。

開催場所はイオンモール幕張新都心です。数か所に分かれて、千葉市の幼稚園や認定こども園の紹介ポスター掲示をはじめ、子どもたちが楽しめる製作コーナーや舞台での催しものを考えております。幼稚園や認定こども園の先生と一緒にたくさん遊びましょう。

また、入園に向けてご心配なことがある方、幼稚園・認定こども園で働きたい方に向けた相談コーナーもあります。

詳細は決まり次第ホームページでお知らせします。

## フェア内容



千葉市内の幼稚園・認定こども園の紹介、  
親子であそぼうコーナー、子育て相談、求人情報





# お弁当・給食だいすき



今回は千城台南幼稚園の愛情たっぷりお弁当と、はまの幼稚園の子どもたちのために  
お米選びにも思いを込めている給食をご紹介します。

## お弁当だいすき

年長  
男児

メニュー ・ふりかけごはん・ウインナー・たまごやき・やきそば・ポテト・ブロッコリー



野菜が苦手な息子でも、お弁当に入ると食べてくれます。ほとんど好きなものですが、嫌いなものも入れるようにしています。入園してから何度もチャレンジをして、食べられるものが増えました。家に帰って来てから「今日はこれがおいしかったよ」と言ってくれる息子のために、これからもお弁当作りもがんばりたいと思います。

石毛 亜沙美 (千城台南幼稚園 保護者)

年長  
女児

メニュー ・わかめごはん・たまごやき・えだまめ・コーン  
・にんじんしりしり・かつ・みかん



お弁当に入ると何でも食べてくれるので、野菜は入れるようにしています。お弁当を楽しく食べてもらいたいので、なるべくカラフルになるように心がけています。

飯野 真優 (千城台南幼稚園 保護者)

## 給食だいすき

### 「食育とSDGs」

管理栄養士 原 雅美 (認定こども園 はまの幼稚園)

幼保連携型認定こども園になり、自園給食を始めて6年目になりました。

「おいしかったよ」「給食大好き」と話してくれる子どもたちや職員の言葉にやりがいを感じながら、日々調理員さんと一緒に給食を作っています。

近年、家庭では共働きの核家族が増え、忙しい毎日を過ごすようになりました。そのため、簡単で手早く作れる料理になっているとよく聞きます。乳幼児期の食事の大切さを考えると、まだまだ食体験の少ない子どもたちにとって、給食で様々な食材や料理をいかにおいしく食べてもらうかは、とても大切で意義のあることだと思っています。

以前より園では、子どもたちにおいしいお米を食べてほしいという理事長の思いから、給食で、ふるさと鴨川の長狭米を提供しています。



またクッキング保育だけではなく、残食をなくそうと子どもたち自ら努力したり、給食で使用する人参や大根のかけらや、キャベツの芯などから芽が出て育つ様子を、興味深く観察したりして、園で取り組んでいるSDGsにもつなげています。

これからも給食室一同、子どもたちも職員も楽しみにしてくれるおいしい給食作りをしていきたいと思っています。

写真は年長の子どもたちが自分で握ったおにぎりと給食を、持参したお弁当箱に詰めて食べた日のものです。お米を大事に食べることと、自分のお弁当箱に詰めることで、「自分の食べられる量を知る」というとても大事な食育体験ができました。

メニュー ・鮭のごまみそ焼 高野豆腐の含め煮 ブロッコリー おにぎり (年長児のみ ウインナー ミニバーグ ポテト)

# 保育室の窓から



## お店屋さんごっこ

仁瓶 美奈子 (認定こども園 都幼稚園)

何屋さんにして品物は何にするか、どんな材料を使ってどのように作るのか、子どもたちの意見を取り入れながら、2~3週間ほどかけて準備をしています。各クラス2店ずつ出店して、年少うめぐみはパン屋さんと楽器屋さんでした。

品物は各家庭から集めた廃材で作るようにしているので、子どもたちも「パンに使う新聞を持ってきたよ!」とワクワクしながら取り組むきっかけとなっています。自分たちで作ったパンを食べる真似をしたり、楽器も「可愛くしよう!」とデザインを考えたり、楽しみながら準備をしていました。当日が近くなると、園内は子どもたちが作ったポスターでにぎやかになります。友だちとポスターを見ながら、何をかうかで盛り上がっていました。

当日は、店員さんになりきった子どもたちの元気な「いらっしゃいませー!100円でーす!」の声が響き渡っていました。初めてのお店屋さんごっこに戸惑っている年少児には年長児が「どれ買いたい?」と優しく声を掛けている姿も見られました。終了後、子どもたちはどんなものを買ったのか楽しそうに見せ合っていました。自分たちが作った品物が売れていく喜びと、たくさんあるお店の中から選んで買い物する楽しさの両方を味わうことができたと思います。



### 私の好きな絵本

「くまさん くまさん なにみてるの?」  
作: エリック・カール  
出版社: 偕成社

「くまさんくまさん ちゃいりくまさん なにみてるの?」から始まる絵本。年少児に人気で、最初は子どもたちも「次は何が出てくるんだろう?」と集中して見えています。何度も読んでいくうちに、順番を覚えてきて競うように当てています。何回読んでも飽きない絵本です。

## おばけたちが笑顔を届けます

竹田 美咲 (認定こども園 ほまれ幼稚園)

ほまれ幼稚園では、たのしみ会の練習で年少~年長組は劇に挑戦しています。年中組の今年の劇は「レンタルおばけのレストラン!」子どもたちが大好きな絵本を題材にした物語です。どのような劇にしたいか尋ねると「ママとパパにすごいって言ってもらう」「すごく泣いてちょう」「おもしろいの!」とのこと。私たちも子どもたちと一緒に頑張ろうと気が引き締まります。練習中もみんなおばけになりきって、自分ならではの表現を楽しんでいます。カッパやきつねや



ざしきわらしなど、様々なおばけたちを演じる子どもたちを見ていると、私たちもずっと笑える、可愛らしい場面があったりして…。特にみんなで最初と最後に踊るおばけダンスは必見です!個性豊かなクラスだからこそ、一人ひとりの考えや思いを大切に、私たちも子どもたちも楽しく練習していけることを一番に考えています。本番は練習の成果を発揮して、お客さん全員を笑顔にできますように!

### 私の好きな絵本

「ぐるんばのようちえん」  
作: 西内ミナミ  
出版社: 福音館書店

ぐるんばはひとりぼっちで泣いてばかりのゾウ。そんなぐるんばをどうにかするために、仲間たちはぐるんばを働きに出します。失敗ばかりのぐるんばが最後に辿り着いたのは…。めそめそしていたぐるんばが最後にはとても生き生きして、こんな楽しそうな幼稚園に幼稚園児だった私は憧れていました。思い出の一冊です。

## シャインマスカット食べた~い

駒谷 美保 (認定こども園 山王幼稚園)

子どもたちは四季折々の草花、実のなる木々に囲まれたアスレチックですですることが大好きです。「虫探しよ~」「ソリでお山を滑ろうよ」「シャインマスカット食べてみたい」「シャ、シャ、シャインマスカット?」大きくなーれ、おいしくなーれと、見上げてはおまじないをしていたぶどう棚の下に、子どもたちが集まってきました。

「そうだね…山王幼稚園のシャインマスカットを食べてみましょう」子どもたちと一緒に収穫して、丁寧に洗って、いざ実食!目を細め、とんがった口元。「すっぱくておいし~い」「え?」木々に囲まれ、友だちとみんなで食べると、幼稚園のブドウは高級シャインマスカットに変わります。



次は柿の収穫、そしてミカン狩り、落ち葉を集めて焼き芋と、アスレチックでは、うれしそうな顔、おいしそうな顔が、何度も見られます。そして、可愛いつぶやきも。

コロナ禍でも、楽しめることを子どもたちと一緒に見つけ十分な配慮をしながら、季節の“味”を楽しめるようにしていきたいです。秋はアスレチックの遊具が、しばらくお休みとなってしまいます。

### 私の好きな絵本

「スイミー」  
作: レオ・レオニ  
出版社: 好学社

子どもの頃から大好きな絵本の1冊です。皆で力を合わせて大きな魚になる場面が大好きです。

私もスイミーになれるはず。勇気をもてる素敵なお話です。

### 幼稚園・認定こども園等で働きたい方をサポートします!!

厚生労働大臣許可番号：12-コ-300646

## 千葉市の幼稚園・認定こども園と一緒に働きましょう!

- 幼稚園教諭、保育士の資格をお持ちの方や資格取得見込みの方
- 子育て支援員として認定された方
- 上記以外の職種（栄養士、事務員、バスの運転手等）の方
- 子育てを終えて職場復帰を希望されている方

幼稚園・認定こども園で働きたい方や再就職を考えている方は、ぜひ、千葉市幼稚園協会HPの求職登録フォームよりご登録ください。資格をお持ちでない方もご相談ください。

千葉市幼稚園協会

検索

協会ホームページもご覧ください。  
親子教室動画公開中です。



公式Twitterフォローお願いします  
(@youchien\_chiba)



### 子育て電話相談室

毎週水曜日 AM10:00~PM4:00

(夏休み、冬休み、春休みを除く)

 0120-510-439

### 編集後記

年度当初、新生活への期待と不安を感じながら過ごしていた子どもたちも、自信満々に毎日を遊び、次のステージへの期待を手にかけている時期となりました。

本年度の千葉市幼稚園教育研究会では、コロナ禍に配慮をしつつ、それぞれの園の保育の質が充実するようにと、公開する園を増やし、各園の参観者を減らすという新しいスタイルにチャレンジしました。当日は、参観者の数が少ないことで、子どもたちは安心していつもの自分で過ごすことができました。そして、日々の保育を公開することができた園の先生も、そんな保育を参観した先生も、日頃の

自分たちの保育を振り返りながら、じっくりと学びを深めることができました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

最後に原稿を執筆していただいた方々に心より感謝申し上げます。また、会報へのご意見やご感想をぜひ委員にお寄せいただきますようお願い申し上げます。会報をとおしてさまざまな方々とつながることで、子どもたちの成長につながる、よりよい保育を目指してまいります。

久留島 太郎 (植草学園大学附属弁天こども園 園長)